

ひながたをたどり 陽気ぐらしの台となりましょう



第 597 号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyohk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>

支部主任研修会 婦人会

婦人会(奥村とう子主任)は、3月2日、教務支庁を会場に支部主任研修会を開催した。

「一手一つお願いづとめ」の開始に合わせ、全道より43名(主任23名、みちのだい育み塾担当者13名、スタッフ7名)が参集し、心を込めてつとめさせていただきます。

奥村教区長は、「毎日いつでもどこでもおやさま、おやさま。と100回でも1千回でも唱えるのも、年祭活動です。教祖をすぐ側に感じる事が大切なんです。」と挨拶。

教区主任は、「この旬にとかく一人でも多くの人に教えを伝え広める努力を重ねましょう、また元旦の大きな地震を通して婦人会長様の「親神様の残念を心して、反省するところは反省し、しっかり通らせて頂きましょう」と思いを伝えた。

以下各種報告が行われた。
●女子青年・しらゆき会

本部担当者講習会の報告と女子青年の皆さんにも年祭活動をしてもらいたいとの思いから、教祖140年祭の年の11月1日に親里にて女子青年大会を開催と報告。

しらゆき会からは、5月5日開催の『繋がるう北海道の女子青年』の案内としらゆきメールの紹介をした。

●ままつぶの集い
今年のみまつぶの集いは、6月23日に開催予定と発表された。

●みちのだい育み塾
今年1月より母親講座から名称が変更された。講習会受講者より報告と具体的な説明がされ、質疑応答では活発な意見があり、今後の活動に活かしたいと話した。

●27スマイルプロジェクト
プログラムを参加者で体験し、リラックスタイム&グループトークは、笑顔溢れる中、和気あいあいと行われた。

●活動報告
決算報告、会計監査報告と予算案の承認がなされ、昨年度活動報告、今年度の活動予定では、27スマイルプロジェクト、支部巡回を行うことなどを了承された。

これからお互いの情報共有、意見交換を重ねながら教区支部婦人会活動を喜び心で進めていきたいと思えます。」と担当者述べた。
最後に記念撮影が行われ散会となった。(婦人会)

天理教婦人会第106回総会

日時 立教187年4月19日(金) 午前9時30分

場所 本部中庭、南、東礼拝場、西境内地

記念行事 支部の集い

「荒天の影響により、急遽欠席の方がおられました。活発な意見交換がなされて、笑い声いっぱいのお会でした。

昨年、初企画の27スマイルプロジェクトとこれまでの支部巡回を通じて、支部同士、また教区と支部との繋がりが強くなってきたように感じます。

これからお互いの情報共有、意見交換を重ねながら教区支部婦人会活動を喜び心で進めていきたいと思えます。」と担当者述べた。
最後に記念撮影が行われ散会となった。(婦人会)

すべて喜び
すべておたすけ
北海道教区

教祖140年祭 北海道教区スローガン

定例にをいかけ やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、3月1日、教務支庁周辺で6名が参加し、布教活動を行った。

2人1組で神名流しと戸別訪問に分かれて実動した。

訪問先の一軒では、少しの間ではあったが、お話のお取次ぎをさせていただき、また別のペアでは、若い男性の方におさづけのお取次ぎをさせていただいた。



戸別訪問

最後に教務支庁でねりあいをを行った。実動に布教の家庭教育委員の方々が多く参加され、平日頃からの熱い思い、そして勇み心と求める信仰を話し合い、にをいかけ後の勢いもプラスされ、充実したねりあいとなり、とても勇ませて頂いた。



今回は、4月16日午後1時30分教務支庁集合で実施予定。なお、今後毎月16日を固定日として行います。行事等の変更の場合は、都度ご連絡いたします。
(布教の家寮長 鷲津孝幸)

支部隊長会議

災 救 隊

災害救援ひのきしん隊(三幣敦志隊長)は、3月3日、教務支庁にて支部隊長、スタッフを対象に支部隊長会議を開催し、25名が参加した。

奥村教区長は挨拶で、「能登半島地震について真柱様は、『いまだ成人の鈍い我々に対する厳しいお仕込みである。』と述べられました。北海道教区では、このふしに、『天理教災害救援

ひのきしん隊基金』へ寄付金を募ることいたしました。

これは、基金に心をかけることは被災地へのおたすけに心を寄せることです。そのことも実践していただきたい。」と、また「諭達にもございますが、子から孫へと信仰をつなぐために、この寄付金を通じて、家族にも心を寄せる機会を与え、声かけにおつとめ頂きたい。『ふしを生かす』努力を実践していただきたい」と話された。

続いて昨年度活動報告、今年度の大きな訓練予定として、6/29(平)時訓練(道東ブロック)、8/30(東)北・北海道ブロック訓練、11/26(白)山川林整備ひのきしんが発表された。

本部隊からの連絡事項では、2/26教区隊長会議で活動方針と能登半島地震についての活動報告が行われた。出動状況は、都度連絡していたが、この度、支部隊長にも改めて伝えた。

・能登半島地震について
出動教区隊は、本部隊を含む30教区隊、延べ2千17名、2/23現在石川県輪島市、珠洲市、七尾市、志賀町にて救援活動を実施。主な作業内容は、炊き出し、給水活動、ブロック塀解体、ブルーシート張り、家財搬出、避難所手伝い。

今後の出動は、3/19(第19次隊)が予定されている。(3/5現在)

教区隊の連絡事項では、本部隊活動方針を受け、「次代を担う人材の育成と増加」をもとに、三幣隊長は、「若い世代へ災救援精神をつなぐため、そして、教区スタッフは各役割を担い責任を持つて活動して頂きたい。教区隊にとっても、この年祭活動の旬に、次代へ道をつなぐ時句である」と人材育成と新たなブロックで交流と連携を強化し、支部隊活動の活性化に繋がりたいと話した。

ねりあいは、道内に設置された5つのブロック毎に分かれ、ブロック内の支部連携強化や今後の訓練地選出についてねりあいをし、各班とも時間が経つのも忘れるほど充実した話し合いとなった。



事務連絡後の隊長挨拶で、『元旦に発生いたしました能登半島地震。先日、次のような報道を見聞きました。』
— 珠洲市御崎町の北部地区で、地震発生後、津波に襲われました。住宅の大半が倒壊するという大きな被害が出たが、住民は5分以内に避難し、全員無事でした。地区では、東日本大震災以降、毎年避難訓練を行っており、住民は「奇跡じゃなくて、訓練が生き」と振り返っていました。』と日頃の訓練の重要性を改めて認識する報道でした。

支部隊での活動を年に1度は、必ず行つて頂きたい『教区長先生がお話しされた通り、心を寄せる行い、被災地へ、そして、親神様、おやさまへの感謝の心を寄せる「ひのきしん」をそれぞれの支部で、実践していただきたい』と隊長が挨拶して散会した。



ブロックでねりあいを

川の流れるように

— 上川支部長 白畠道之 —



どなたでもこの歌はよくご存
じだと思えます。日本の大歌手、
美空ひばりの大ヒットした名曲
ですね。最近まで知らなかった
のですが、この曲を作詞したの
が秋元康65歳、私と同年齢で、
おニャン子クラブやAKBグループ
を作った人。私はこういったグ
ループには、まったく興味がな
かったのですが、ある時テレ
ビの「情熱大陸」という番組
で、AKBの一人が注目されていま
した。その娘はグループのオー
ディションに何度も落ちて、京
都から東京まで夜行バスに乗っ
てレッスンに通い、合格してか
らも相当な努力の末、総監督に
まで登り詰めた。という内容
だったと思えます。きれいに着
飾って歌って踊る表舞台の裏側
を如実に見せられて、根性ある
なあ、努力は報われるんだなど
感激しました。その上家内と同
じ京都出身、娘と同じ年齢とい
うのも相俟って、頑張る姿を庇

援しています。
さて、上川支部は、旭川市永
山、東旭川地区と、当麻、比布、
愛別、上川町の21教会で活動し
ております。支部の御用に関わ
る中で、旭山動物園のひのきし
んは、先輩先生方が長年にわた
り、一生懸命つとめて下さった
お陰により、時には遊具が場所
を占めたり、時には入場者が少
なくなったり、逆に10年経って
300万人を超えたりと、様々な時
代を通じてきましたが、いつも
いそいそと、地道にひのきしん
に励む姿に変わりは無く、今年
もひのきしんを予定しておりま
す。

また、過去には全教一斉にを
いがけデーで、リーフレット全
戸配布を提唱され、その思召し
にお応えすべく、支部の皆さん
が努力奮闘されて全戸配布を成
し遂げ、更に勢いを持って隣
の支部にも配布させて頂いて、
100%を超える配布率を達成する

の味がする」。教祖物語の絵本
から、テーマにふさわしい部分
を映し出して、声の担当を決め、
映像に合わせて声を録音する作
業をしました。皆さんよく練習
して下さいました。1回で収録
が終わり、スタッフの皆さんの
熱い思いが、ひしひしと伝わっ



という、勇みに勇んだ姿をお見
せ頂きました。そうして、現在
も布教部では毎月1回やまびこ
会を開催し、各地で地道な活動
を展開しています。
ようばく一斉活動日では、自
主プログラムに教祖のひながた
について学ぶと題して、第1回
目のテーマは、「水を飲めば水

この様に上川支部は道の御用
に心篤く、ひとすじ心に邁進す
る方の集まりであります。
石狩川が上川町から、次第に
ゆつたりと流れて、川の流れの
ように移行行く季節雪解けを待
ちながら、おだやかにこの身を
まかせていきたい。
支部の皆様様に心から感謝申し
上げます。

て、編集構成も素晴らしく仕上
げて下さいました。当日ご覧い
ただいて、大変評判も良く、有
難い次第でございます。
私は、夫善兵衛様の声を担当
させて頂きましたが、教祖が内
蔵に籠もられ、善兵衛様が内蔵
の戸を開けるように申し上げる
と、教祖から「ならぬ！ならぬ
というたら、ならぬ！」と、厳
しいお言葉が返ってきました。
この時は本当に教祖が私に向
かって叱責されているのかと
思ってしまうほど、気持ちがあ
もったお言葉だったと思いま
す。後から教祖の声の担当の方
に、私に何か至らないところが
有りましたらまた、「ならぬと
いうたら、ならぬ！」と叱って
くださいね。と、お願いしまし
た。

●ふせこみひのきしん
教務支庁にて毎月29日



2F 回ビ一掃除



トイレ掃除



3F 廊下

2月29日は、2階ロビー、小
会議室、3階研修室、風呂脱衣
所、トイレ、廊下の掃除を行い
14名が参加下さいました。
ありがとうございました。



全教一斉ひのきしんデー



成人の旬 一手一つにひのきしん ～日々の実践につなげよう～

4月29日
月祝



お近くの会場は「教区・支部情報ねっと」でご確認いただけます

各地の動き

● 災救隊南空知支部隊

ボランティア研修会に

災害救援ひのきしん隊南空知支部隊の富山知一隊長は、3月14日、岩見沢広域福祉総合センターにて開催された令和5年度災害ボランティア研修会（岩見沢社会福祉協議会主催）に講師として招かれた。



講演する富山隊長

当日は、富山隊長を含む3名の講師が、岩見沢市災害ボランティア登録者や防災士など、約30名ほどの参加者を前に講演。ボランティアセンターの役割や被災時の運営内容、また元旦

に起こった能登半島地震の被災状況や、具体的な復興活動などについて、資料や写真をもとに、講演が行われた。

その中で富山隊長は、自身が携わった北海道胆振東部地震での活動内容について報告を行った。

講演は、災救隊組織の概略に始まり、倒壊家屋の復旧作業や、現地ボランティアセンター立ち上げに際し困難を極めたこと、そして作業のみならず、被災者のお話に真剣に耳を傾けたために、涙を流すほど喜ばれたことなどの体験談を語り、リアリティー溢れる話に、参加者はときに大きくうなずきながら真剣に耳を傾けていた。

(社友岩佐善昭)

新教会長さん紹介

(令和6年3月お運び)

札幌北西支部 潮見台分教会(那美岐) 奉告祭 6月16日



寒河江 陽一 氏 53 歳

南空知支部 善進道分教会(夕張) 奉告祭 5月19日



渡部 辰大 氏 39 歳

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭選擇式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしくお願致します。

北海道教務支庁日誌抄

3月1日 青年会 Meets! やまびこ会

2日 婦人会 支部主任研修会 一手一つお願いづとめ 支部長会議 学生会例会

3日 災救隊 支部隊長会議

4日 札幌中南支部例会

5日 しらゆき会例会 学生会例会 学担 春学引率者会議

9日 学生会例会

10日 会計部会議

16日 しらゆき会例会

23日 学生会例会 教区長本 学生会 春の学生おちばがえり

25日 教区長会議

26日 本部月次祭選擇式 主事会

27日 本部春季靈祭 教区長帰庁

28日 しらゆき会例会 教務支庁ふせこみひのきしん たすけ推進会議 運営委員会

29日

31日

計報

立教一八七年・令和6年

・新妻 庄一様 1月31日出直(67歳) 白糠分教会長 (釧根支部)

・市川 光也様 3月1日出直(77歳) 芦別分教会長 (空知支部)

・関川 美代子様 3月5日出直(93歳) 北京分教会前会長夫人(札幌北西支部)